

福島県職員 獣医師・畜産職募集

Working together toward a brighter future

福島県の位置

東北の南端にあり
東北の玄関口

東京からは
おおむね200km

東西南北に鉄道、
高速道路など
交通網が発展

北海道、岩手県に
次いで全国で
3番目の広さ。

東北新幹線で
東京から
約1時間20分
(郡山)



豊かな自然、史跡、伝統文化

福島県は、浜通り、中通り、会津の3つの地域に区分されます。

それぞれの地域で、豊かな自然、史跡、伝統文化などが
数多く残っており、見るものを魅了します。

また、登山、カヌー、スキー、スノーボードなど

どの季節においても美しい自然を舞台にレジャー・スポーツの満喫が可能です。

このように、首都圏近郊でありながら、ゆとりのある環境で生活することが出来ます。



尾瀬



相馬野馬追



裏磐梯



南会津



会津彼岸獅子

勤務先、待遇

- **職務内容** 家畜保健衛生所、畜産研究所、食肉衛生検査所、動物愛護センター等に勤務し、家畜保健衛生・食品衛生・試験研究等の業務に従事
- **給料等** 福島県給与規定に基づき支給
 (令和6年4月1日新規採用者の給与の例 大学新卒の場合)
 家畜保健衛生所に勤務: 月282,200円^{※1}+ α ^{※2}

※1 給料月額のほか、初任給調整手当及び給料の調整額を含む、基本的な給与の額です。
 ※2 基本的な給与のほか、期末・勤労手当(ボーナス)、超過勤務手当(時間外勤務手当)、通勤手当、住居手当等がそれぞれの要件により支給されます。
 *農林水産部では畜産課、保健福祉部では食品生活衛生課など、本庁に勤務する場合もあります。

獣医師の業務内容 (家畜保健衛生所)

家畜伝染病の予防

- 家畜伝染病の発生予防、まん延防止のために家畜の検査を行う。
- 豚熱や鳥インフルエンザなどの特定家畜伝染病の発生に備えて平時から体制整備を行い、万が一の発生時には殺処分や消毒などの防疫措置を行う。



その他

- 動物病院を定期的に立入検査し、適正な獣医療の提供がされるよう獣医師を指導する。
- 動物用医薬品販売業者などに立入検査し、動物用医薬品が適正に流通されるよう指導する。
- その他、家畜人工授精師の指導、家畜排せつ物処理の指導など畜産振興のために多種多様な業務を行っている。

海外からの特定家畜伝染病侵入防止

- 海外から肉製品が違法に持ち込まれないよう、海外旅行者、外国人実習生等に対し周知活動を行う。



中央家畜保健衛生所

- 中央家畜保健衛生所は平成30年2月に開所した新しい施設です。最新鋭の検査機器を使用して診断を行うことができます。また全国的にも珍しい特定家畜伝染病対策に特化した業務を行う部署が設置されています。

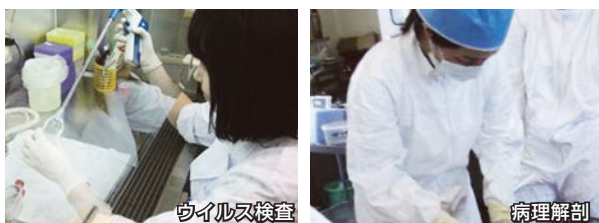


家畜衛生の向上

- 畜産農家の巡回指導、講演会の開催などにより家畜衛生に関する情報、技術等の普及を行う。
- 地域で問題となっている消化器病や呼吸器病などを低減するため、原因究明や指導を行う。

家畜の病性鑑定

- 家畜の病理解剖や病原体の分離、同定検査などを行い、ウイルス、細菌、病理、生化学など総合的に診断する。



ある日のスケジュール(例)

8:30	業務開始
9:00	牛の検査のため畜産農家へ出発
10:00	農家到着
10:30~12:00	農家、獣医師と打合せ後、2班にわかれ牛200頭から採血
12:15~13:00	昼食
14:15	帰宅
14:30~15:30	検査室で検体処理、検査
16:00	検査結果を上司へ報告し畜産農家へ連絡
17:15	事務処理終了後帰宅

研修事業の紹介

- 福島県では、「福島県家保研修」として夏休み期間に獣医学生のインターンシップを受け入れており、家畜保健衛生所（家保）の日常業務と共に高度な研修を受けることができます。
- 「福島県家保研修」以外にも、復興から立ち上がる福島の今・福島の魅力を知ってもらい、さらに、家保の業務に関心を持ってもらうため、「獣医学生福島体験研修」を春休み期間に実施しています。
- いずれの研修も、県の規定に基づき交通費・宿泊費を補助します。
（他の団体から補助を受けて参加する場合、重複して県の補助は受けられません）
- 申込書等は、お問い合わせいただくか福島県畜産課ホームページ、大学窓口でも入手可能です。



▲福島県畜産課 HP

福島県家保研修

- 福島県家保研修（予定人数：6名程度）
例年8月下旬～9月上旬頃開催
（上記の期間で学生の希望を調整し^{※1}、月曜日から金曜日までの5日間の研修を行います。）
- 申込期間 5月下旬～7月中旬頃
（詳細は福島県畜産課ホームページでご確認ください）

福島県家保研修^{※2}の内容

研修風景



農場研修（牛の採血）



ウイルス検査実習



防疫資材点検

研修スケジュール^{※3}

日程	内容
1日目	講義：「家畜保健衛生所の業務について」 実習：施設内見学
2日目	実習：ふそ病検査 実習：慢性疾病対策
3日目	実習：ヨーネ病検査 ○ 農場での採材 ○ 検体処理
4日目	実習：鳥インフルエンザモニタリング検査 ○ 農場での採材 ○ 検体処理
5日目	実習：病性鑑定検査

受講生のコメント^{※4}

志賀 泉美さん（酪農学園大学3年）

家保の業務やその役割を知る、という当初の目的だけでなく、臨床的な知識や技術、動物との接し方、関わる方とのコミュニケーションに至るまで多くのことを実際に業務にあたる姿を通して学ばせていただきました。

中道 光也さん（日本大学5年生）

行く土地や行う研修内容などが全てが新鮮で大変貴重な体験をすることができました。研修の目的である公務員獣医師の働きも詳しく知ることができました。

※1：申し込み状況によっては、希望する日程に受講できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 ※2：令和4年8月29日～9月2日、9月5日～9日、9月12日～16日に福島県中央家畜保健衛生所で実施しました。（3週合計6名参加）
 ※3：研修内容は、家畜保健衛生所の業務スケジュールに合わせて行うため、週ごとに内容が変わります。
 ※4：研修参加時の学年を記載しています。

獣医学生福島体験研修

■ 獣医学生福島体験研修（予定人数：10名程度）
例年2月下旬頃開催

■ 申込期間 10月上旬～1月下旬頃
（詳細は福島県畜産課ホームページでご確認ください）



獣医学生福島体験研修^{※1}の内容

研修風景



講義



資材備蓄庫見学



震災遺構浪江町立請戸小学校



復興関連牧場見学



病性鑑定施設見学



研修スケジュール^{※2}

日程	内容
1日目	講義：「福島県の特徴と獣医師職員の職場」 講義：「震災時の家畜保健衛生所の対応等について」 講義：「高病原性鳥インフルエンザ発生の際の対応について」 ○ 施設内見学
2日目	現地視察 ○ 復興関連牧場見学 ○ 震災遺構浪江町立請戸小学校 ○ 東日本大震災原子力災害伝承館
3日目	講義：「病性鑑定課の業務について」 実習：病性鑑定施設見学

受講生のコメント^{※3}

■ 岩澤 明香里さん（岩手大学5年）

たくさん質問に答えて頂けて、インターネットで調べたり、パンフレットを見たりしただけでは分からないことを知ることができました。また、震災時の対応についてのお話は、福島県の方からしか聞けないもので、実際に福島県の家畜保健衛生所まで行って、話を聞けて良かったと思いました。

■ 北 あかりさん（岡山理科大学3年）

今回の研修に参加して、将来の職を決めるためにかなり参考になりました。学校の実習で行くだけでは聞けないような細かいお話や、施設見学ができたからです。

※1：令和4年2月28日～3月2日に実施しました。（計10名参加）

※2：研修内容は、福島県の復興状況や家畜衛生をめぐる情勢等に応じて、毎年変わります。

※3：研修参加時の学年を記載しています。

先輩職員からのメッセージ（獣医師）



いわなが みくや
岩永 海空也

平成 30 年度採用
（日本獣医生命科学大学卒 千葉県出身）
中央家畜保健衛生所
病性鑑定課

●福島県に入庁した理由、抱負

私は 3 年生の時に研究室の卒業生の方のつながりで福島体験研修に参加して、福島県の自然や家畜保健衛生所の仕事にとっても魅力を感じ、今となっては参加してよかったと心から思っています。

●獣医学生の皆さんへメッセージ

まずは近い将来に自分が仕事としてやりたいことを大まかに絞ったら、長期休暇期間などに、勉強の合間を縫って実際にその現場を体験しに行ってみてください。現場でしかわからない何かが見つかるかもしれません。研究室や研修先の方々とのつながりを最大限に活用して、それが今後の人生を変えるかもしれないと大切に捉えて残りの学生生活を過ごしてみてください。きっと、今得たことが就職後にも役立ちます。



▲獣医学生研修



すずき ももか
鈴木 桃香

令和 2 年度採用
（日本大学卒 福島県出身）
R2.4～R5.3
県北家畜保健衛生所
防疫課
R5.4～
中央家畜保健衛生所
安全対策・監視課

●福島県に入庁した理由、抱負

私はフィールドで働きたいという思いから家畜保健衛生所への就職を志願し、この度地元である福島県の県北家畜保健衛生所への配属となりました。故郷である福島県や今後関わり合う農家さんに報いられるよう確かな知識を持ってフィールドでしっかり動けるように精進していきます。

●獣医学生の皆さんへメッセージ

この原稿を見ているということは現在就職先についていろいろと考えていらっしゃるかと思います。

獣医師の携われる職域は多岐にわたりますが、私自身は現在福島県の農林水産部に就職して後悔はありません。皆さんも後悔が少なくなるよう様々な職域を体験して自分の納得がいく選択をしてもらえたらいいなと思います。また、福島県は自然が豊かで、季節ごとに緩やかに変わっていく風景や空気感、動植物等フィールドが好きな方ならきっと魅力的に感じる要素がたくさんあります。もし福島県に興味があるようでしたら是非研修に参加し、福島の雰囲気を感じてみてください。



よしかわ ゆうか
吉川 優花

令和 4 年度採用
（日本獣医生命科学大学卒 東京都出身）
中央家畜保健衛生所
防疫課

●福島県に入庁した理由、抱負

私は以前、民間企業で働いていましたが、中途採用で福島県に入庁しました。転職を考えた際に福島県を選んだ理由として、学生時に参加した福島体験研修での復興に向けて前向きに進む県民の方々や、優しく指導いただいた職員の方々の思い出、入庁を決めました。大動物を扱う仕事に携わるのは初めてのため不慣れなこともあります。日々知識と技術を身につけ、畜産農家の皆さんの力になれる職員に成長したいです。

●獣医学生の皆さんへメッセージ

獣医師の職域は多岐にわたり、就職先の方向性に迷っている方もいると思います。様々な研修に参加出来るのは学生の特権ですので、家保に限らず、積極的に参加してみると良いと思います。また、大学で大動物と触れ合う機会が少ない方も、入庁後は上司先輩が丁寧に指導してくれますので、安心していただけたらと思います。私は県外出身ですが、福島県の皆さんはとてとても温かいと感じています。是非皆さんと福島県で一緒に働けるのを心待ちにしています。



▲豚熱ワクチン接種



福島県職員募集サイト START 獣医師

福島県で働く先輩獣医師の仕事や
プライベートの他、採用情報、福島県の魅力についても
知ることができます！
是非チェックしてみてください！



先輩職員からのメッセージ（畜産職）



よこかわ ちひろ
横川 智拓

平成 27 年度採用
(福島県出身)
農林水産部 畜産課

●県職員を志した理由

幼い頃から動物が大好きで、動物に関わる仕事がしたいと思い、大学では畜産を学びました。大学の講義では、震災後の福島県畜産の現状や原発事故で農業者が避難した後、放たれたり自力で脱出したりした、いわゆる「放れ畜」の問題などが多く取り上げられていました。大学時代を県外で過ごし、少し離れて福島を見つめたときに、「やっぱり福島が好きなんだなあ」と感じるようになり、福島県畜産の復活に携わりたいと思い、福島県職員を志望しました。

●受験者へメッセージ

畜産職は、畜産農業者の方々や市町村の担当者等と協力して、安全で美味しい畜産物を生産し、活力ある産地を創る仕事です。職場も、農業者の方々への支援・指導を行う普及指導の部署や試験研究機関、畜産行政を担当する部署など多岐にわたります。

仕事のひとつひとつが「農業者の皆さんを笑顔にする！地域を活性化する！」ことにつながっています。魅力あふれる福島の畜産を再構築するため、皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！



こまつ かずき
小松 一樹

平成 31 年度採用
(福島県出身)
農業総合センター
畜産研究所

●現在の仕事内容

農業総合センター畜産研究所で肉用牛に関する業務を行っています。私の所属する肉畜科では、県内の普及員・家畜保健衛生所職員と協力し、肉用牛に超音波を使って生育中に霜降りの入り具合を推定する超音波肉質診断を県内農家で実施しています。それ以外にも、全国の研究機関と共同で「牛肉のおいしさ」について明らかにする研究や、酒粕を食べた牛の肉質を調査する研究を行っています。

●これまでの仕事で印象に残っていること

畜産職って何をしている仕事なの？と思う方も多いかと思います。畜産職の業務は、牛や豚、鶏などの家畜関係だけでなく、農業、食品、担い手育成、鳥獣被害防止など、様々に関連した業務を行います。どの業務も畜産の知識・経験が基礎にあるものの、畜産以外のスキルが必要になる場面も非常に多いです。畜産を学んできた方はもちろん、他分野を学んできた方で、少しでも興味ある方はぜひ受験してみてください。「福島県の農業者の力になりたい！」という強い気持ちがあることが大事だと感じています。皆さんと共に働ける日を心待ちにしています。



▲味覚センサー分析



おか なおき
岡 直樹

令和 3 年度採用
(新潟県出身)
会津農林事務所
会津坂下普及所

●畜産職の魅力

畜産職は県全体の畜産について行政、普及、試験研究など様々な角度から携われるため、色々な経験が出来るのが魅力だと思います。勉強することは多くありますが、周りには頼りになる先輩や相談できる上司もいるので、とても働きやすい環境に感じます。

●仕事で心がけていること

「この仕事は何の目的のためにやっているんだろう？」ということを確認しながら仕事をすることを心がけています。最初のうちはわからないことだらけで大変だと思いますが、意識して仕事に取り組んでいると、見えてくる景色も変わってきますよ。

●受験生へのメッセージ

私は実家が農家というわけではないため、入庁当所は技術的な面で不安がありました。そんな中、周囲の人に気軽に相談でき、研修も充実している職場で、日々学びながら過ごすうちに不安は減っていきました。皆さんも悩んだりしたときは気負わずに周囲に聞いてみてください。きっと様々なアドバイスをもらえるはずですよ。皆さんと働ける日をお待ちしています。



●お問い合わせ先

【研修事業】福島県農林水産部畜産課

TEL.024-521-7364 E-mail:eiseishiryou@pref.fukushima.lg.jp

【採用試験】福島県農林水産部農林総務課

TEL.024-521-7391 E-mail:soumu.aff@pref.fukushima.lg.jp

●県ホームページ

採用情報

福島県人事課

検索

家保業務や研修紹介

福島県畜産課

検索

